

# Japan Storage Solutions (Japanese Version)

AN IDC CONTINUOUS INTELLIGENCE SERVICE

IDC Japan 年間情報提供サービス「Japan Storage Solutions (Japanese Version)」は、ストレージハードウェア、ストレージソフトウェア、ストレージサービスを総合した国内ストレージ市場全体について、詳細な市場分析、予測、競合状況などを報告します。年間を通じて発行される調査報告書はすべて、同市場で成功を収めるためのビジネス戦略策定、プロダクトマネジメントや開発計画、マーケティング、販促活動などにお役立ていただけます。2022年は企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）に対応するストレージとして、オールフラッシュストレージ、Software-Defined Storage、Storage infrastructure as a service、ユーザー企業のストレージ需要動向（利用モデルや運用管理の自動化など）調査を強化しています。

## Markets and Subjects Analyzed

- エンタープライズストレージシステム
- Software-Defined Storage
- メディアタイプ別エンタープライズストレージシステム
- ストレージソフトウェア
- Storage infrastructure as a service
- オールフラッシュストレージ

## Core Research

- 国内エンタープライズストレージシステム市場 予測とシェア
- 国内 Software-Defined Storage 市場 予測
- 国内エンタープライズストレージシステム稼働容量予測
- 国内オールフラッシュストレージ市場 予測とシェア
- 国内ストレージソフトウェア市場 予測とシェア
- 国内 Storage infrastructure as a service 分析
- 国内クラウド向けストレージ市場 予測
- 国内ストレージ需要動向調査
- 国内ファイル/オブジェクトストレージ市場予測
- IDC FutureScape: Worldwide Enterprise Infrastructure 2022 Predictions - Japan Implications

上記リサーチは市場環境などの変化に応じて変更される可能性があります。発行レポートをご覧になりたい場合は以下 Web サイトをご参照ください。: [Japan Storage Solutions \(Japanese Version\)](#).

## Key Questions Answered

- DX時代の国内ストレージソリューション市場における成功への戦略とは？
- クラウドの普及は国内ストレージ市場にどのような影響を与えるのか？
- 国内市場でオールフラッシュストレージの需要を喚起する要因は何か？
- ストレージソフトウェア市場の現在/今後の成長分野は？
- Storage infrastructure as a service を提供するサプライヤーの新たな戦略は？
- Software-Defined Storage がストレージ投資に与える影響は？

## Companies Analyzed

IDC では、次のベンダーの企業戦略、競合状況などの比較/分析を行います（アルファベット順、50音順）。

Dell Technologies (Dell EMC)、F5 ネットワークス、IBM、NEC、NTT コミュニケーションズ、NTT データ、SCSK、アクティフィオ、アクロニス、アップル、ウエスタン・デジタル、伊藤忠テクノソリューションズ、インターネットイニシアティブ、オラクル、兼松エレクトロニクス、カリゴ、クアラム、クラウドファン、シスコシステムズ、スキャリティ、ソフトバンクコマース&サービス、ソニー、タンベルグデータ、データコア・ソフトウェア、データダイレクト・

ネットワークス、東京エレクトロンデバイス、東芝、日商エレクトロニクス、日鉄ソリューションズ、日本 CA、日本ヒューレット・パッカード、日本ユニシス、ニュータニックス、ニューテック、ネットアップ、ネットワールド、ノックス、パシフィックテクノロジー、ビジョンソリューションズ、ピュア・ストレージ、日立製作所、ファルコンシステム、富士通、ブロードコム、ベリタステクノロジー、丸紅情報システムズ、ユニアデックス、レッドハット、その他